

科目名	母性看護援助論Ⅰ（妊娠）	分野/教育内容	専門分野Ⅱ/母性看護学	
開講年次・時期	2年後期	単位数/時間	1単位/30時間 妊娠(15時間) 分娩(15時間)を合わせて1単位	
担当講師名	金野	所属・役職	岩手県立宮古病院	
		資格・免許	助産師・看護師	
	千葉勝子	所属・役職	岩手県立宮古高等看護学院	
		資格・免許	助産師　看護師	
授業の概要	妊娠期の妊婦および家族の看護について妊娠期の身体的変化、心理・社会的変化を理解し、妊婦及び胎児のアセスメント、妊婦の保健指導、家族を含めた看護・看護技術について学ぶ			
到達目標	1.　正常な妊娠の経過、妊娠期における母体、胎児の生理的变化について理解し、アセスメントができる 2.　妊婦と家族が健康を保持するための援助や出産・育児に向けた援助を理解する			
事前学習内容	授業内容に関連する範囲の教科書を読んでおく			
成績評価の方法	試験による評価　金野先生 80 点、　保健指導千葉 20 点、合計 100 点			
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護の実践 ナーシング・グラフィカ母性看護学③母性看護技術			
授業回数	授業概要（主な学習内容）		講師	授業形態
第1回	1．妊娠期における看護師の役割 妊婦の生理 ①妊娠に関連する定義 ②妊娠の成立 ③胎児の成長		金野 助産師	講義
第2回	2．妊娠の生理 ④妊娠の生理 ⑤マイナートラブル 3．妊婦と胎児のアセスメント ①妊婦健康診査における看護 ②妊婦健診初診で行われるアセスメント ③初診以降の妊婦健診で行われるアセスメント		金野 助産師	講義
第3回	4．出産を控えた妊婦と家族の心理社会的変化と看護 ①．妊婦の心理社会的変化と看護。 ②．出産を控えた家族の心理社会的変化と看護		金野 助産師	講義
第4回	5．妊娠期の健康維持のためのセルフマネジメント		金野 助産師	講義

令和5年度 60回生 授業概要(シラバス)

第5回	1. 出産と子育ての準備の看護	金野助産師	講義
第6回	妊娠期における保健指導の実際	千葉	講義 個人ワーク
第7回	妊娠期における保健指導の実際	千葉	
履修上の 留意点	<ul style="list-style-type: none">・ 母子を取りまく環境、現代の家族の在り方など、社会の動向と連動し看護の役割についての学びを深める・ 分からない言葉はそのままにせず調べながら学習し、積極的に授業に臨む		

令和5年度 60回生 授業概要(シラバス)

科目名	母性看護援助論Ⅰ (分娩)	分野/教育内容	専門分野/母性看護学
開講年次・時期	2年後期 令和5年11月	単位数/時間	1単位/30時間 妊娠(15時間)と分娩(15時間)を合わせて1単位
担当講師名	今野真裕美	所属・役職	岩手県立宮古病院
		資格・免許	看護師・助産師
授業の概要	分娩の経過に伴う身体的変化、心理・社会的変化を理解し、援助の実際を学ぶ。 また、分娩の進行と産婦・胎児の健康状態、産婦・家族の心理・社会的な問題に 焦点を合わせたアセスメントを学ぶ		
到達目標	1. 正常な分娩の流れとメカニズムを理解し、産婦が満足した分娩となるように 基本的な看護を学ぶ 2. 分娩期を妊娠期から連続的に捉え、分娩期必要な情報を理解する 3. 分娩が産婦やその家族に及ぼす身体的・心理的・社会的な影響を知りアセ スメントできる		
事前学習内容	妊娠期における母子の生理について復習する		
成績評価の方法	試験(100点)		
使用テキスト	1) ナーシング・グラフィカ母性看護学② 母性看護の実践 2) ナーシング・グラフィカ母性看護学③ 母性看護技術		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	1. 分娩期における看護師の役割 2. 分娩の生理 (1) 分娩に関する定義 (2) 分娩の三要素 (3) 分娩の経過		講義
第2回	3. 産婦と胎児のアセスメント		講義
第3回	4. 産婦のニーズと看護 ・産婦の基本的ニーズへの看護		講義
第4回	・産痛の緩和と分娩進行に対応した看護 ・安全を保障する管理		
第5回	5. 産婦と家族の心理		講義
第6回	6. 分娩期の保健指導		講義
第7回	7. 分娩期の保健指導の実際		演習
履修上の留意点	・ 母子を取りまく環境、現代の家族の在り方など、社会の動向と連動し看護の 役割についての学びを深める ・ 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける ・ 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		

令和5年度 60回生 授業概要(シラバス)

科目名	母性看護援助論Ⅲ (ハイリスク)	分野/教育内容	専門分野/母性看護学
開講年次・時期	2 年後期 令和 5 年	単位数/時間	1 単位/30 時間 本科目は以下の 2 単元で構成される ・ <u>ハイリスク：15 時間</u> ・ <u>周産期異常の看護：15 時間</u>
担当講師名	産婦人科医師	所属・役職	宮古県立宮古病院 産婦人科科長
		資格・免許	医師
授業の概要	妊娠・分娩・産褥経過中にみられる異常、妊婦・産婦・褥婦および胎児・新生児におこる問題を理解し、医学的対応、健康状態のアセスメントを学ぶ		
到達目標	1. 妊娠・胎児・胎児付属物に見られる異常を理解する 2. ハイリスク妊娠の管理に必要な検査を理解する		
事前学習内容	母性看護援助論Ⅰ(妊娠・分娩)、母性看護援助論Ⅱ(産褥)で学習した内容を復習しておく		
成績評価の方法	試験(100 点)		
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護の実際		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	妊娠期の異常 p94～ ・ 子宮外妊娠・妊娠維持期間の異常・妊娠に伴う異常・多胎		講義
第 2 回	妊娠期の異常 p111～ ・ 合併症を有する妊娠・妊娠期の感染症 ・ 羊水量の異常・胎盤機能不全		
第 3 回	妊娠期の異常まとめ		
第 4 回	分娩期の異常 p168～ ・ 産道の異常・娩出力の異常・娩出物の異常・児頭骨盤不均衡 ・ 臍帯の異常・胎児機能不全		
第 5 回	分娩期の異常 p187～ ・ 分娩時裂傷・異常出血・産科処置・手術		
第 6 回	産褥期の異常 p 264～ ・ 産褥期の出血・血栓症・産褥期の感染症・産褥期の下部尿路機能障害・乳頭、乳房トラブル・産褥精神障害		
第 7 回	産褥期の異常 p 279～ 帝王切開術 産褥期の異常まとめ		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		

令和5年度 60回生 授業概要(シラバス)

科目名	母性看護援助論Ⅲ (周産期異常の看護)	分野/教育内容	専門分野/母性看護学
開講年次・時期	2年後期 令和5年	単位数/時間	1単位/30時間 本科目は以下の2単元で構成される ・ ハイリスク：15時間 ・ 周産期異常の看護：15時間
担当講師名	千葉勝子	所属・役職	
		資格・免許	
授業の概要	妊娠・分娩・産褥経過中にみられる異常、妊婦・産婦・褥婦および胎児・新生児におこる問題を理解し、医学的対応、健康状態のアセスメントを学ぶ		
到達目標	1. 妊娠期・分娩期・産褥期の異常の看護のポイントを理解する。 2. 母性看護における看護過程の展開を理解する。 3. 特殊のニーズをもつ、妊産婦と家族への支援を理解する。		
事前学習内容	母性看護援助論Ⅰ(妊娠・分娩)、母性看護援助論Ⅱ(産褥)で学習した内容を復習しておく		
成績評価の方法	試験(100点)		
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ母性看護学②母性看護の実際		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	妊娠期の異常		講義
第2回	分娩期の異常		
第3回	産褥期の異常		
第4回	帝王切開術前・後の看護 看護過程の展開		
第5回	切迫早産妊婦の看護の展開		
第6回	特殊なニーズを持つ妊産婦と家族への支援		
第7回	まとめ		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		